

## 委員からの事前意見等

## 1 議論を深めていただきたいご意見（検討委員会としての方向感を確認したい案件）

意見提出者	ご意見概要
北村委員長	<p>○ ステージ構成を修正してはどうか</p> <p><b>ステージ1：機会の充実</b>            施策1：多様な文化芸術に親しむ機会の提供            施策2：文化芸術のための施設の活用等</p> <p><b>ステージ2：未来への布石</b>            施策1：子どもたちの文化芸術を体験する機会の充実  <u>施策2：文化芸術を支える土壌づくり</u>            ※ ボランティア、アートマネージャーなどの育成や支援や民間活力の活用など)</p> <p><b>ステージ3：文化資源の保存・活用</b>            施策1：文化遺産・自然遺産の保存と活用            施策2：札幌の文化芸術を通じた国内外への魅力の発信</p> <p><b>ステージ4：文化芸術の領域の拡大</b>  <u>施策1：創造性にあふれる多様多彩な文化芸術の展開</u>  <u>施策2：アーティスト支援の充実</u></p> <p>（現行、ステージ2、施策2の「多面的なアーティスト支援」は「アーティスト支援」よりも「担い手の育成」（専門家、ボランティア、鑑賞者、マネジメント、ディレクターなど）に変更し、ステージ2の施策2「多面的なアーティスト支援」とステージ3の施策2「文化芸術のさまざまな分野との連携・活用」をステージ4「文化芸術の領域の拡大」として独立させる。）</p>

意見提出者	ご意見概要
	<p><b>ステージ4：文化芸術の領域の拡大</b></p> <p>文化芸術が持つ創造性を点から面へと広げてゆくため、教育、福祉、医療、国際交流、まちづくり、観光、経済などのさまざまな分野との連携を進めます。また創造都市・札幌に相応しい文化芸術の多様な可能性を高めるために、アーティスト支援をより充実させます。</p>
成田委員	<p><b>○ ステージを再構成してはどうか</b></p> <p>ステージ1があらゆる人々が、年齢や障害の有無などに関わらず文化芸術に触れる機会を充実させるとあるのに、(障害のない)子どもだけ「未来への布石」という別ステージなのが気になりました。なので、主体ごとに分類してみました。ステージ1の主体は鑑賞者、ステージ2はアーティストや関係者を主体とし、ステージ3はモノ(施設含む)に関する施策としてみました。とはいえ、これは見せ方の問題でしかなく、個々の事業内容の方が重要なのは言うまでもありません。</p> <p><b>●ステージ1. 機会の充実</b>      施策 1-1. 多様な文化芸術に親しむ機会の提供      施策 2-1. 子どもたちの文化芸術を体験する機会の充実</p> <p><b>●ステージ2. 育成、支援、連携</b>      施策 2-2. 多様なアーティスト支援      施策 3-2. 文化芸術の様々な分野との連携と支援</p> <p><b>●ステージ3. 文化資源の保存・活用</b>      施策 1-2. 文化芸術のための施設の活用等      施策 3-1. 文化遺産・自然遺産の保存と活用</p>

## 2 計画の記載内容へのご意見

意見提出者	ご意見概要
成田委員	<p>○ 計画の構成について</p> <p>P1 2. 第 4 期計画の方向性と P4～5 4. 札幌市の文化行政の方向性は、同じ章にまとめた方が読みやすくなると思います。特に 2. 第 4 期計画の方向性 (3) 重点的に取り組む項目の整理と、4. 札幌市の文化行政の方向性 (3) 札幌市の文化行政の方向性は同じ内容なので、(1) 継承・再構築→ (2) 見直し→ (3) 重点項目の整理の流れで、読めた方が分かりやすいと思います。</p>
白鳥委員	<p>○ 文化行政の方向性の図には説明が必要ではないか</p> <p>P5 札幌市の文化行政の方向性 (文化芸術の価値) の図の説明の解説的なものがあつた方がよいのではないか</p>
成田委員	<p>○ 文化行政の方向性の図には説明が必要ではないか</p> <p>P 4 では、「国では、文化芸術の価値を「本質的価値」と「社会的・経済的価値」と整理している」と標記し、P 5 では社会的価値と経済的価値に分かれていることに違和感を感じる。</p> <p>国の言う「社会的・経済的価値」を札幌市独自の見解として、社会的価値と経済的価値に分けるのであれば、その理由も含めそれぞれの価値について丁寧な説明を記載した方が良いと思う。</p>
成田委員	<p>○ P4～5 札幌市の文化政策の方向性 (文化芸術の価値) に関して</p> <p>「第 2 次札幌市まちづくり戦略ビジョン」から keyword を抽出して図表として整理する方法は良いと思うが、この keyword だけでは、文化芸術の価値を表すには過不足があると考えます。「戦略ビジョン」P79 から読み取れる「多様な価値観」、「創造力・感性を育成」「相互理解」など、文化芸術にとって重要な keyword を追加した方が良いと思う。</p> <p>また、keyword については、元の英語に何かしらの意味が付与されたカタカナ英語を使用する際には注意が必要と思います (E X. 国際的プレゼンスの向上⇒元の英語には「軍隊・国家」という意味があるので、「軍隊・国家」という主語が必要なければ日本語の存在感で良いと思う)</p> <p>P 5 には「第 2 次札幌市まちづくり戦略ビジョン」に記載されている「私たちが取り組むこと」を記載した方が P 6 からのステージ 1～3 との整合性が取れると思う。</p> <p>現状では、P5 にはアーティストへの支援などが謳われておらず、『様々な分野と連携することにより「社会的価値・経済的価値」のみの向上を目指す』とも読めることを危惧しています。第 4 期文化芸術基本計画に掲載する場合は、「戦略ビジョン」P79 を丁寧に読み解き、解説・記載する必要があると思います。また、今まで検討委員会で話し合わ</p>

意見提出者	ご意見概要
	<p>れてきたことをふまえ、「第3期文化芸術基本計画をブラッシュアップする形で継続し、文化芸術の本質的価値を高め、第4期では更に様々な分野との連携を進めることで社会的・経済的価値を向上させることを目指します。」とした方が、第4期の重点項目が際立つと思います。</p>
成田委員	<p>○ <b>施策1-2文化芸術のための施設の活用等に関して</b>          札幌市全体としての文化芸術のための施設の記載を（モエレ沼公園、図書館など）。札幌市としての文化芸術基本計画なので、全体像は見たほうが良いと思います。文化部以外が所管する施設に関しては、所管する部署が記載されていれば良いと思います。          また、「3館体制」という言葉がわからないので説明が必要と思います。</p>
白鳥委員	<p>○ <b>施策2-2の重点取組事項</b>          『アーツカウンシルの本市での必要性についても検討します』とあるが、『アーツカウンシルの本市での<u>必要性及び仕組み</u>についても検討します』のような形の方が良いのではないかと。          ※理由：当該計画期間（5年を想定）に必要性だけの検討で終わるのは不条理</p>
根子委員	<p>○ <b>施策2-2の文章の中に、事業効果の高いアーティストインレジデンスについて記載をした方が良い</b>  <b>【文案】</b>          また、<u>事業効果の高いアーティスト・イン・レジデンス（AIR）を積極的に進め、拠点施設であるさっぽろ天神山アーティストスタジオの十分な活用により、市内のアーティストが市外のアーティストから刺激を受け、レベルアップできる環境を目指すとともに、共に文化芸術を創り上げる観点からボランティアへの支援を進めていきます。</u></p>
ト部委員	<p>○ <b>ステージ2の重点取組事項について</b>          「積極的に連携」または「アーティストが学校に訪問して」など入れてはどうか。</p>
白鳥委員	<p>○ <b>ステージ3：文化資源の保存・活用</b>          リード文的な以下文章に、「<u>まちづくりの活用</u>」を表現して欲しい。          文化芸術や文化財が持つ創造性や価値を適切に保存継承しながら、教育、地域社会、福祉、経済、<u>まちづくり</u>など様々な分野と連携・活用し、まちの活性化や地域コミュニティ形成、効果的な投資やイノベーション、札幌のブランド発信につなげるなど、文化芸術が有する社会的・経済的価値の発揮を目指します。</p>

意見提出者	ご意見概要
谷本委員	<p>○ 施策 3-1 の重点取組事項である自然史博物館の検討は、自然史だけでなく文化遺産に関する総合博物館にすべきではないか。</p> <p>現在のさっぽろの文化財施設は、先史（考古）と近代に偏重しており、個々ばらばらのテーマに散在している印象がある。また、アイヌ文化交流センターの施設には、一般的なアイヌ史・アイヌ文化に関する展示・情報施設はあるものの、札幌市域のアイヌ文化財やアイヌ史に特化した工夫の余地はあるような印象が残る。</p> <p>こうした状況を勘案すると、「自然史」の要素も含みつつも、札幌市域の「歴史（文化遺産）」（札幌市の先住民族であるアイヌのそれを含んだ）に関する総合的な窓口・提示施設としての機能を備えた「博物館」を整備すべきと考える。</p> <p>それにより、札幌市に主語を置いたシビック・プライドの醸成が期待され、同時に、その源泉となる文化資源の保存・活用のセンターとなることに資すると考えるからである。</p> <p>「自然史」に限定した博物館を整備することは、結果的に新たなテーマの文化財関連施設が加わることになり、全体を見通すことの難しい現状が継続することになるものと考えている。</p>
根子委員	<p>○ 施策 3-3 で環境配慮などの取組を行うべきではないか</p> <p>【文案】</p> <p>国内外の創造都市と交流したり、雪まつりなどの観光イベントと連動した取組を行うことなどを通じて、国内外の観光客等が文化芸術に触れる機会を増やすなど、札幌の国際都市としての魅力を一層高めていきます。</p> <p><u>また、SDGs 未来都市である札幌市が進める都市全体のサステナビリティの向上を図るため、札幌国際芸術祭やPMF、サッポロ・シティ・ジャズなどの文化芸術事業においても、環境配慮、CO2排出削減などに取り組み、都市のブランド力強化につなげていきます。</u></p>
北村委員長	<p>○ 施策 4-1：創造性あふれる多様多彩な文化芸術の展開</p> <p>重点取組事項：メディアアート（マンガ、アニメ、コスプレ、映像、デジタルアートなどを含む）や異ジャンル融合、実験的試みなど新たな文化芸術の可能性を探求します。また世界中のアーティストから刺激を受け、札幌のアートがレベルアップできる環境を目指します。</p>
白鳥委員	<p>○ 5 将来の文化芸術活動を活性化させるための仕組み</p> <p>基金の活用について、もう少し記載できないか。</p>
ト部委員	<p>○ 以下の内容を計画に盛り込んでほしい</p>

意見提出者	ご意見概要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アールブリュットの芸術性に関する評価を議論する</li> <li>・アールブリュットのマネジメントができる人材育成、ノウハウの共有（多面的なアーティスト支援のところに明記するなど）</li> </ul>
成田委員	<p>○ P8 6. 第4期計画における成果指標</p> <p>5年後のあるべき札幌の姿が描かれていれば良いな、と思いました。それが、「戦略ビジョン」P79の「目指す姿」であれば、「私たちが取り組むこと」も記載を。</p> <p>そもそも文化芸術の効果は数値化しきれないものだと思うので、%だけではない評価軸があったほうが良いとも思います。5-（2）事業の評価検証に記載されていること（定量的のみではない適切な指針の検討）を、反映させる文言があれば。</p>

### 3 個別施策へのご意見

意見提出者	ご意見概要
ト部委員	<p><b>喋っていい美術館</b></p> <p>ステージ1の重点取組事項における想定取組例に「鑑賞型の美術館（喋っていい美術鑑賞）」を入れてほしい</p>
北村委員長	<p><b>施策2：アーティスト支援の充実</b></p> <p><b>重点取組事項：文化芸術活動支援室（仮称）の開設</b></p> <p>文化芸術は今日の社会の諸課題に対して他分野と連携することを通じて、さまざまな貢献をなすことが期待されています。特に文化芸術を活用した集客交流の拡大など産業活性化に向けた取組に関しては、人口減少による大きな転換期を迎える本市のまちづくりにおいても、非常に重要な取組となります。またアートを通じて市民が皆ともに支え合う共生社会の実現を目指して、障害者やLGBTQ、アイヌ、外国籍の人たちなどの文化芸術活動を支援します。そこで文化芸術の成果を積極的に社会に還元することを目的として「文化芸術活動支援室」を開設します。</p> <p><b>企画・成果評価専門委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数名の専門家から構成される企画・成果評価専門委員会は提出されたプロジェクトの申請から採択の可否を決定する。</li> <li>・そのプロジェクトの実施を検証する、成果を評価する。</li> </ul>

意見提出者	ご意見概要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い評価が得られたプロジェクトに対してはインセンティブを与える。</li> </ul> <p><b>文化芸術活動支援者バンク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストに伴走してその活動を支援者（個人、団体）の登録制度</li> <li>・各支援者はどのようなジャンルのどのような伴走支援を得意とするのか（音楽、美術、演劇、文学などのプロデュース、ディレクション、ワークショップ、申請書作成、広報活動、制作補助、技術補助、練習場所・公演会場確保、ファイナンス、コンプライアンス、クレーム対応、税務など）、どのような機関との連携を得意とするのか（病院、学校、福祉施設、観光会社、商業施設、地域社会、まちづくり事業など）を明らかにし、各支援者どうしで不得意な部分を互いに補い合えるようにする。</li> </ul> <p><b>アーティストによる助成金申請</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストは伴走者を必要とする旨の仮申請書を企画・成果評価専門委員会に提出し、企画・成果評価専門委員会は、適当な伴奏者を選任する。アーティストと伴奏者は協力して、改めてプロジェクトの本申請を提出する。</li> <li>・あるいは、初めから特定の伴奏者と協力してアーティストはプロジェクトの本申請を提出してもよい。</li> <li>・あるいは、アーティストが特に伴走支援を必要としない場合には、直接プロジェクトの本申請をしてもよい。</li> <li>・申請—採択は年に2回、3回、4回、随時？</li> </ul>
丸山委員	<p><b>中間支援団体を活用した取組の公平性・透明性の検討について</b></p> <p>中間支援団体を活用した支援についての課題は公平性・透明性の部分と認識しているが、SCARTSが「札幌市文化芸術振興助成金」を引き継いだ際にかなり検討した部分でもあるので、SCARTSのノウハウも生かして事業構築することも一つの考えではないか。</p>
成田委員	<p><b>施策 2-2. 多方面なアーティスト支援に関して</b></p> <p>札幌市にもアーツカウンシルが必要だと思います。アーティストのキャリアアップ支援や自立できるような連携の提案など、併走支援が必要だと思います。アーツカウンシルのあるべき姿（ビジョン）は、市民、アーティスト、ステークホルダーとの対話を重ねることから、札幌市のアーツカウンシルが「望まれる役割」が見えてくるような気がしています。多様な背景・バックグラウンド持つ方々の多様な意見を集約して、仕組みをつくるのも行政の役割のひとつかと思います（当然、誰もが100%満足できる仕組み・システムは存在しないという前提で良いと思います）。同時に、中間支援団体ができることと、アーツカウンシルがすべきことの整理が必要だと思います。</p>

意見提出者	ご意見概要
	<p>同じく、アーティストや文化継承者を支援するだけでなく、プロデューサーやプロジェクトマネージャー、コーディネーターと呼ばれるような「中継者（仮）」が自立して活躍できるような支援も必要だと思います。作品と鑑賞者を繋ぐ役割の方々の存在が、文化芸術の価値を広める・高めることにもつながると思います。</p> <p>尚、札幌市からの情報提供のあった「アーツカウンシル」についての勉強会は、とても参考になりました。特に、調査研究とアドボガシー活動は重要だと思います。それらは、行政が行うより、独立公正な組織が行う方が専門性と透明性を担保できるのではないかと思います。</p>
成田委員	<p>・資料2 「文化芸術創造活動支援事業」の今後の方向性について</p> <p>アーティスト支援、ディレクター的人材の育成・活動支援を中心とした、「社会・経済への還元」事業であって欲しいと思います。</p> <p>また、中間支援という業務は一朝一夕で行えるものではなく、その目的に応じた経験の蓄積が求められます。単年度ではなく複数年度の事業プランとして検討していただければ。</p>
成田委員	<p>・施策3-2.文化芸術の様々な分野との連携と支援に関して</p> <p>おとどけアートの企業版があったらいいなと思いました。企業との連携の場合は、アーティストが下請けとなるのではない、対等な関係性の構築に関しての働きかけは必須だと思います。企業にとっては、アーティストがもたらす新しい視点は、新たな価値の創造に役立つと思います。</p>
成田委員	<p>P8 5. 将来の文化芸術活動を活性化させるための仕組み</p> <p>(3) 将来の文化芸術活動を活性化させるための調査研究に関して</p> <p>市民有志による「北海道芸術文化アーカイヴセンター」設立準備会が発足しました（私も参加しています）。北海道で行われている芸術や文化活動に関する多様な情報をWEBサイトとデータベースのカタチで公開します。今後、札幌市ともなにかしらの連携が取れば幸いです。</p>

#### 4 個別ヒアリングのご意見

意見の文言確認中。